

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】（小学校用）

都道府県名	長崎県
-------	-----

I 学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	平戸市立平戸小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	3	3	3	2	20	31
児童数	99	81	99	98	104	93	4	578	

II 研究の概要

1. 研究主題

わかる喜びを味わい、自ら学ぼうとする子どもの育成
～算数科学習を通して「確かな学力」を身につけさせる指導法の工夫～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・全学年 算数
習熟の程度に差が生じやすい算数科を中心に全職員で実践研究を推進し、教育目標の具現化を図るため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度

- テーマ
わかる喜びを味わい、自ら学ぼうとする子どもの育成
～算数科学習を通して「確かな学力」を身につけさせる指導法の工夫～
- 研究の見通し
 - ・先進校視察 波佐見，フロンティアスクール中心
 - ・研究計画
 - ・実態調査 学力検査，S-P表の利用，アンケート
 - ・基礎研究 確かな学力，T・Tや少人数指導のきめ細やかな指導
 - ・中間指導 低・中・高学年部会研究授業
 - ・教材開発 補充・発展学習のための教材開発
 - ・授業実践 各学年部で計画，全クラス授業（模擬授業含む）
 - ・評価法研究 変容の数値化，評価基準・規準の利用
 - ・研究のまとめ（1年次）
- （仮説） 算数科の学習過程において，T・Tや少人数指導などの指導方法や指導体制，教材の開発などを工夫し，評価を生かしながら個に応じたきめ細かな指導を行えば，基礎・基本が定着し，一人一人がわかる喜びを味わい，自ら学ぼうとする子どもを育成することができるであろう。
- 研究の内容・方法
 - ◎個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善
 - T・T，少人数指導…○いろいろな形態を実践し，研究を重ねていく。
5月中旬まではT・T中心，その後，少人数指導へ
 - いきいきタイム …○繰り返し学習による基礎・基本の徹底，定着
○朝の15分を利用 水…国語（書き）
木…算数（マス計算）
金…読書（読み 読書タイム）
 - かめおかタイム …○毎週月曜日14時20分～15時05分 各教室
○個別指導（補充学習が必要な児童の基礎・基本の習得）
・担任で指導

	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の机間指導，テストの結果などで声かけ ・できることの喜びを共感する ○自学（自ら学ぶ子ども） <ul style="list-style-type: none"> ・「かめおかくん」（算数問題集）の活用 ・見直しの確認と個別指導（専科中心） ・一人の学習 ・他教科の学習（児童の計画） ・かめおかカード 結果と学習のふり返り <p>◎発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材開発</p> <p>習熟度別プリント 学年部会で検討 習熟度別具体物 学年部会で検討 パソコン 市販ソフト フリーソフト 自作ソフト 視聴覚機器 実物投影機，ビデオ，OHP，プロジェクター</p> <p>◎児童の学力の評価を生かした指導の改善</p> <p>学力テスト …市販学力テストで児童の実態を把握 ディネテスト …単元や学習の導入などで実施し，子どものレディネスを確認する。 プレテスト …未習内容をどのくらい解決できるか確認する。 足あとテスト…毎時間の学習の終わりに実施し，子どもの理解度を確認する 評価規準 …毎時間ごとに評価規準の重点項目を設定し，子どもの習熟度を確認（基準）する。 ポストテスト…プレテストとの比較により，子どもの伸びを比較する。 市販テスト…単元末で実施し総括的な評価 S-P表 …テストの結果をS-P表に表し，一人一人の子どもの学習状況を分析（パソコンソフトの利用）し，授業改善や個別指導に活かす。</p>
--	---

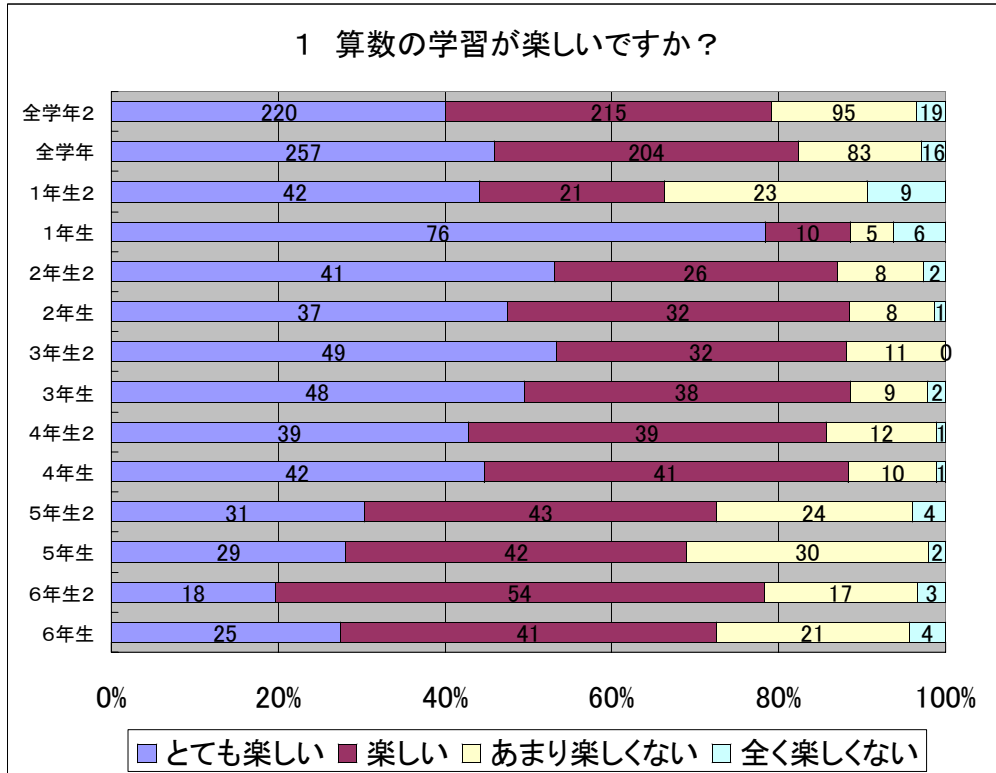
平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> ○1年次見直し・修正， ○授業実践 ○公開研究発表会， ○研究のまとめ（冊子＋CD-ROM版）
--------	--

(3) 研究推進体制

研究組織図	<pre> graph TD A[校長] --> B[教頭] B --> C[研究推進委員会] C --> D[全体会] D --> E[環境整備部] D --> F[情報教育部] D --> G[授業研究部] D --> H[理論研究部] D --> I[スキル研究部] F --> J[低学年部] G --> K[中学年部] H --> L[高学年部] </pre>
研究推進委員会	…校長，教頭，教務主任，研究主任，研究副主任，各学年部部長 必要に応じて各専門部部長
全体会	…全員参加，全体で研究の方向性を話し合い，決定する。
授業研究部	…全員参加，授業実践を通して研究を深める。
理論研究部	…T・T，少人数指導の理論研究，指導案形式，評価，児童の実態把握
環境整備部	…算数に関する掲示物，算数コーナー，教室掲示環境整備
情報教育部	…パソコンの実技研修，ホームページ更新，情報教育カリキュラ

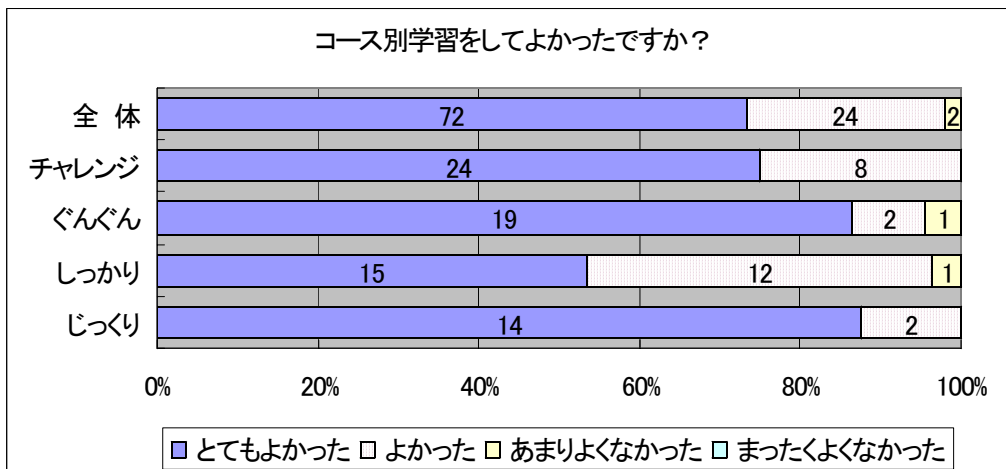
III 平成15年度の研究成果及び今後の課題
 1. 研究の成果

• 児童の学習意欲が高まった



※高学年に算数の学習が楽しいと答える児童が1学期に比べて増えている。1年生はサクランボ計算の指導の途中で、サクランボの書き方などでとまどっていたことが影響している。

• 自分の学習を振り返り自分にあったコースを選択できるようになってきた
 (4年生 「わり算のしかたを考えよう」コース別学習後のアンケート)



竹千代 for Win - 平成15年度

ファイル(F) 編集(E) 登録(D) 集計表(S) S-P表(P) 名簿(M) 設定(O) ヘルプ(H)

4年 3組 算数 S-P分析

正誤S-P 解答S-P 問題順正答表 児童について 問題について

算数 11 三角形と角

できた問題→できなかった問題

番号	氏名	3	4	6	7	8	5	9	10	15	12	1	13	14	正答数	正答率	注意係数
26		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	15	100.0	0.00
27		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	15	100.0	0.00
28		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	15	100.0	0.00
29		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	15	100.0	0.00
31		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	15	100.0	0.00
15		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	14	93.3	0.00
1		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	14	93.3	0.32
2		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	14	93.3	0.32
6		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	14	93.3	0.32
12		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	19	86.7	0.00
30		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	13	86.7	0.00
25		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	13	86.7	0.19
7		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	13	86.7	0.76 **
33		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	11	73.3	0.42
14		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	11	86.7	0.00
32		知	知	知	知	知	知	知	知	表	表	知	表	表	8	55.3	0.00
	正答数	32	32	32	32	32	31	31	31	28	28	28	28	28	452		
	正答率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	96.8	96.8	96.8	87.5	87.5	87.5	87.5	87.5	94.2		
	注意係数																

児童名

高い 正答率 低い

不正解

高い 正答率 低い

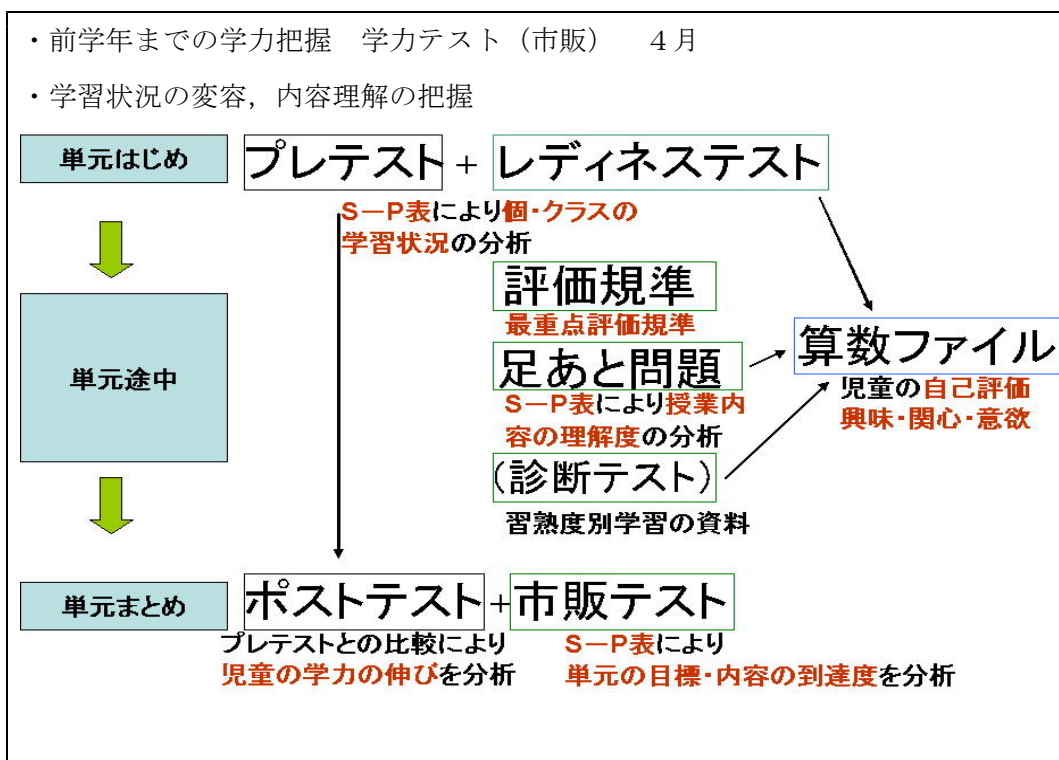
正解→「○」、間違え→「・」、赤→S曲線、青→P曲線。

- S-P表の活用により個に応じた指導が的確になった
- 毎時間ごとの評価規準を作成したことで、評価の意識が高まった
- 複数教師による授業で指導法の研究や改善が進んだ
- クラスの枠を外した指導形態への意識が高まった

2. 今後の課題

- 習熟が必要な児童への指導
- 数学的な考え方をのばす指導法の研究
- 評価規準を基にした評価を簡潔に正確に行う方法
- 補充的な学習、発展的な学習の教材開発
- T・Tの打ち合わせ時間の確保
- コンピュータの活用
- サポートティーチャーを取り入れた指導体制
- 本校研究の方向性の精選

IV 学力等把握のための学校としての取組



V フロントィアスクールとしての研究成果の普及

- ・平成15年11月13日（木）
 第2回中間指導 公開授業 研究経過説明会 市内小中学校対象
- ・平成16年2月23日（月）
 授業参観日 全学級「算数」授業 研究経過説明会 保護者対象
- ・ホームページ上で公開授業，研究授業の指導案公開
- ・フロントィアティーチャー…検討中

◇ 次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T.Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無